

# 広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘  
編集 川口町役場 総務課  
(〒949-75 ☎0258(089-3111))

## 新潟県史刊行のご案内

### 予約募集中

「新潟県史」第五卷(通史編)が、昨年度の第四巻に続いて、今年の三月に刊行されます。同県史は、新潟県が立県百年の記念事業として、編さんを進めているもので、原始時代から昭和五十一年までを記述しており、図版・写真も豊富に取りそろえた親しみやすい県史です。是非予約を！

- ◆昭和62年度刊行巻の頒布価格
- 通史編4 近世二 三、七〇〇円
  - 通史編5 近世三 三、七〇〇円
  - 通史編7 近代二 三、七〇〇円
  - 通史編8 近代三 三、七〇〇円
  - 通史編9 現代 三、七〇〇円
- (分売可・送料別)

●申込み先  
新潟市新光町四番一  
新潟県総務部県史編さん室  
TEL(三三)六五五一一  
(内線二二〇一)

●申込み方法  
官製ハガキに住所・氏名・購入巻名・冊数・電話番号などを記入して、お申し込みください。

又、各巻の概要を記したパンフレットを用意しましたので、御希望の方は御請求ください。

### 保育所の入所申請を受付けいたします

一、申請書提出期限及び提出先  
一月三十日(出) 川口町役場

二、入所施設等  
東部保育所 西川口保育所  
田麦山保育所 上川保育所

※申請書は、福祉課、田麦山支所及び各保育所に用意してあります。不明の点は福祉課へお問い合わせください。

### 歳末警戒

### 警察官を激励!!

年末も押し迫った十二月二十四日夜青柳町長は、川口地内の国道十七号で、歳末警戒にあたる警察官を激励した。当日の夜は、警察官二十数名が出勤。車を一台一台止め、飲酒運転の取締りと安全運転を真剣に呼びかける警察官一人一人に町長は「ご苦労です」と声をかけ、労をねぎらい、小千谷警察署長と町内を巡視し、歳末防犯に当たりました。

### 新春 囲碁・将棋大会

日時 1月17日(日)  
AM9:00~PM5:00

場所 町総合福祉センター

参加費 一般 1,500円  
中学生 700円

### 公営住宅空室情報

町営住宅 大島団地

2戸

どうぞお申込みください。



人口	6,516人	昭和63年1月1日現在
男	3,189人	
女	3,327人	
世帯数	1,503戸	



あけまして  
おめでとう  
ございます

おもな内容	年頭のごあいさつ..... 2~4	かっこうよく雪上にシュプール..... 8~9
	川口中学校の食堂棟が完成..... 5	郷土の歴史を綴る..... 10
	カメラレポート..... 6	お知らせコーナー..... 11~12
	わたしの住む町作文コンクール..... 7	



# 年頭の

## ごあいさつ



川口町長  
青柳 弘

明けましておめでとうございます。昭和六十三年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は町政の各分野にわたりまして、何かと御指導、御協力を賜りましたことに、まず心から厚くお礼を申し上げます。

昨年は、国際的には世界の平和にとりまして、最も大きな影響力をもつ米ソの首脳会談が行われ、「核廃絶」への歴史的な第一歩が踏み出されま

したことは、平和を愛する国民にとりましては、このうえもない大きな喜びでありました。しかしながら、中東情勢の緊張や中南米など、発展途上国における政情不安は依然として続き、更に地震災害、あいつく航空機事故など、極めて不安定要素も多い年でありました。

また、経済的には、株式市場が史上最大の暴落をするなど、世界的に為替及び株式相場は、一段と深刻な状況となっております。

一方国内では、国家財政の危機的状態が続く中で、竹下新内閣が発足いたしました。産業構造の転換をはじめ、異常な地下上昇、並びに国際収支の不均衡がもたらす、極めて厳しい環境に加えまして「行政改革」、「財政再建」のための「財政圧縮」が、地方に大きな不安を残す、多事多難な年でありました。

# 一、各般の事業順調に

## 町活性化対策 着実な進展 最大イベント「町制施行三十周年記念事業」大成功に終始

こうした内外共に激動する社会経済情勢の中ではありましたが、当町におきましては、計画いたしました各般の事業が、いずれも予定どおり順調な進展をみており、また一歩前進することができた年であったと思えます。



▲ 7/25 町制施行30周年式典及びふるさと友好都市提携調印式が盛大に開催されました。

トは「町制施行三十周年記念事業」でありましたが、皆様方の温かい御指導と御協力によりまして、盛り沢山の行事が、大成功のうちに終始いたしましたことに、心から感謝を申し上げますのであります。



▶ お祭も盛大に行われた

それは未来に対する、新たな決意の宣明である。といった新なる決意に燃えておるところであります。本当にありがとうございました。

また、事業面におきましても、「川口中学校食堂建設事業」をはじめ、「第三期山村振興対策事業」、「和南津簡易水道改良事業」等「新規」に採択いただきました「国庫補助事業」を中心に、数多くの事業が完了、または順調な形で推移いたしております。

継続事業につきましても、「農村基盤総合整備事業」をはじめ「観光レクリエーション地区施設整備事業」、「町道改良」から「災害復旧」まで各種の「定住環境整備事業」を予定どおり実施することができました。

さらに、和南津橋歩道橋の完成や国道十七号の改良、木沢トンネルの着手、並びに「総合保養地域整備法」に伴う新潟県、「特定地域」に指定されるなど、国、県の直轄事業、及び町の活性化対策も着実に進展いたしております。

# 財政改善も着実に 大きな評価

現在、国・地方を通じまして高度成長期に肥大した、行政の減量化及び借入金依存の増大によって悪化した財政構造の健全化が、行財政の緊急の課題となっております。

我が川口町におきましては、すでに数年前より「財政再建整備計画」を樹立いたしました「企業感覚」による「合理的な町村経営」に徹しながら、一、既定経費並びに制度の見直しを行うスクラップアンドビルド方式の採用や、二、起債（借金）による事業は厳しくこれを抑え、公債費は交付税に見かえりのあるものを選択したり、

三、先取り行政の展開により国庫補助事業を積極的に導入したこと。

などによりまして、「経常収支比率」、「公債費比率」、「人件費比率」など、財政運営の適否を表す各係数は、いづれも正常値を示すなど、「財政改善」に対する取り組みと「財政運営」の成果について、県御当局からも高い評価をいただいております。

このように、極めて厳しい社会経済環境の中で、健全財政を堅持しながら、各分野において目標を上回る、大きな成果を収めることが出来得ましたことも、ひとえに、皆様方の温かい御指導と御協力によるものでありまして心から感謝申し上げます。

# 二、豊かで安全快適な暮らしに

## 定住環境整備を積極的に進め 調和のとれた活力のある温かい 町づくりに精魂を

私は、昭和六十三年を迎えるにあたり、皆様方から寄せられました信頼と期待に応えるべく、思いを新たに、全力を尽くして町政の遂行にあた

る決意であります。ご案内のとおり、我が国は今、増高する国債や、貿易収支の不均衡がもたらす深刻な影響に加えまして、「人口の高

齢化」、「国民の価値観の多様化」、「高度情報化社会への移行」など、まさに歴史的な変革期に突入しております。

こうした激動する内外情勢の流れの中で、地方自治をあずかる私共の役割は、いよいよよ大なるものがあります。

今日の「行政制度」と「財政構造」の中で、町民の皆様方の理解をいただき、合意を形成しながら、我が川口町がいつまでも川口町であり続ける。ためには「行政の刷新合理化」を図りながら、常に「自主的、創造的」行政を、展開しなければならぬと考えております。

私はいつも申し上げておりますが、時代は今歴史の大きな変革のうねりの中にある。というところであります。

時代が変わろうとする秋、その変動をいち早く察知して、自らの意識の改革を行わなにかぎり、新しい時代に対応することはできないと思えます。

この激動と転換の厳しい社会経済環境の中ではありますが、私は、町民の皆様が豊かで、安全快適な社会生活を営むための「定住環境整備」を、

積極的に進める考えであります。

私は今後も、更に「発想の転換」をはかり、皆様方の理解と協力をいただきながら、来る二十一世紀に、大きくはばたくことのできる、「調和のとれた活力のある温かい町づくり」に精魂を打ちこむ所存でありますので、温かい友情と厳しい御指導を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

年頭にあたり、皆様方の限りなく御繁栄と、御健勝を心からお祈り申し上げます。



**町政のテーマ**  
健康にしてうるおいのある定住条件を満たすために  
健康と心のふれあう  
スポーツの町  
レッツ・ラブ・カワグチ  
さあ川口を愛そう  
この町は君が住む町  
創る町



# 新春の

## ごあいさつ



川口町議会議長  
小宮山久治

町民の皆様、明けましておめでとございます。  
皆様お揃いで新春を迎えられたこと存じ衷心よりお慶び申し上げます。  
町民の皆様には、日頃から町政に対する温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
お陰をもちまして昨年も着実に発展への基盤を固めてまいりましたが、ここに新年を迎え、川口町の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

昭和六十二年度は、県議会議員選挙、町議会議員選挙、農業委員会委員選挙と、地方にとっては重要な選挙が行なわれました。また、当町においては、川口まつりに、町制施行三十周年記念式典が行なわれ、東京狛江市と「ふるさと友好都市」提携調印式が、大勢の関係者の見守るなかで行なわれました。十一月には、狛江市「市民祭り」に町長はじめ全議員が参加し、友好を深めてまいったわけでございます。  
当町の日本一を誇る越後川ロインターチェンジを中山高原にドッキングさせ、魅力ある家族滞在型観光レクリエーション地域づくり事業に鋭意努力を払っておりますが、町の活性化対策は正にこれからが正念場であって、いかにして二十一世紀を迎えるかが問題であろうかと考えます。そのためには、過去の因習にの

みとられることなく、おたがいが小異を捨てて大同に生きる寛大さと、いかなる困難にも屈せず、大きな未来に対応して果敢に立向う気力が必要かと思われれます。私共が今日あるのも、やはり先人の偉業の賜であり、また私共が、次の世代に誤りなく伝えて行くことも、重大な責務であると確信いたしております。  
新しい年を迎え、魅力ある豊かな川口町の創造には難問が目白押しに山積しておりますが、執行機関、議会は勿論でありますが、町民すべてが一丸となって、明日の川口町更に十年後、二十年後の町づくりのため、鋭意頑張ろうではありませんか。それには何よりも健康でなければなりません。  
町議会は、町民の代表として議決機関の機能を最大限に発揮しつつ皆様の信頼とご期待にそまうよう今後とも一層努めてまいります。  
今後共町民の皆様の一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、前年にも増して、皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

### 謹賀新年

川口町議会

議長 小宮山久治  
副議長 鈴木隆司  
議員 綱直太郎  
      覚張定一  
      森山子之吉  
      星野幸夫

議員 金子武  
      岡村清  
      波部庄平  
      古田島博英  
      佐藤与喜男  
      関弘蔵  
      山吉勝治  
      広井新太郎  
      星野重雄  
      覚張精三郎



▲完成した川口中食堂棟

去年六月から工事を進めてきた川口中学校の食堂棟建設工事が終り、きれいな食堂がおめえしました。  
又、これにより町内全校が専用食堂を有し、楽しい食事の場が確保されました。  
中学校の食堂は、第二次学校教育施設整備計画に基づいて、正面から校舎に向って右側、普通教室棟の隣りに鉄筋コンクリート三階建、延五百五十六平方メートル、国庫補助事業として内部の備品購入

きれいな、立派な食堂がおめえ!!

# 川口中学校の食堂棟が完成

## 三階建、学年別に給食

町内全校が  
食堂完備

費を含めた事業費の総額は、八千六百三十六万円。  
中学校では、三年前から給食を行っていましたが、これまで食堂がなく、教室の学習机を利用してきた不便もこれで解消、生徒も大喜びです。  
小学校の食堂が大食堂方式で、大きな室内に全校児童が集って一緒に食事をするのに比べ、この食堂は、一階から三階までの三室に区分する学年別方式になり、二階以上はリフトで配膳する仕組み。

中学校では、十二月中旬に何度か予行練習に使っており、三学期からは食堂給食になります。  
給食センター

中学校の食堂が完成して町内全校に食堂がととのい、給食調理する側の学校給食センターでは張り切っています。町内五校のうち木沢小学校だけが自校調理で、他の四校の給食調理を担当しているのがこのセンター。子供たちの楽しい給食の裏方として、目立たないところががんばっています。

大きな釜と取り組む調理員は六人、土曜を除き毎日九百食の給食を作ります。



▲張り切る給食調理員の皆さん  
学校給食センターで

給食だけでなく  
多目的に使用できる  
食堂には、暗幕やスクリーン、テレビ、放送施設が完備



▲喜びの生徒たち 12月23日 食堂で

作るのも大変ならば、あとの皿洗いもまた難気。暑い日の熱湯や寒い日の水洗いが一番つらいとか。でもセンターで働く人たちは、子供たちのために、定められた給食費

の中で少しでもおいしいものをと、「なるべく手作りするべく温かいうちに」をモットーに張り切っています。



### 選挙管理委員会

#### 委員に

関口治郎氏 (川口)  
米山藤一氏 (和南津)  
広井幸雄氏 (相川)  
森山太吉氏 (田麦山)

#### が就任

選挙管理委員会委員は、定数四人、任期四年で、議会の選挙で選出されます。

このたび、同委員の任期満了に伴い、去る十二月二十一日開かれた、町議会十二月定例会で四氏が当選し、就任したものです。

これにより、全委員が交代されました。

なお、前委員の横道隆さん(相川)七期二十七年、堀沢政栄さん(中山)四期十六年、水落喜一さん(田麦山)二期八年、覚張栄一さん(和南津)一期三年間と各々在職され、公正な選挙に尽力されました。長い間、ご苦労様でした。

## 理科の研究発表会で 四つの研究が奨励賞

新潟県児童生徒科学研究会表会で、町内の小中学校から四組の研究が奨励賞に入賞しました。

この発表会は、理科学習の充実と児童生徒の学習意欲の向上のために、県理科教育センター研究協議会が開催したもので、今回川口から四組も入賞したことは、日頃の学習成果が実ったからと学校では喜んでいます。

研究内容は、どれも立派にできており、今回はグループでの研究が数多く入賞したのが特徴です。校長先生から、賞状が研究した人たちに手渡されました。

#### 奨励賞をうけた研究

- しみぬきの研究  
川口小学校六年 岡村 恵 佐藤未央子 覚張美彩恵
- オジギ草の葉のとじ方  
泉水小学校五年 山崎 学

## わたしの住む町 作文コンクール

### 入賞者を表彰

町内小中学生による「わたしの住む町」作文コンクールで、優秀賞六編と佳作二十八編の入賞作品が決まり、この程、青柳町長から入賞者に賞状が贈られました。

さとを再認識してもらって郷土愛を養うことを目的として町内全校の子供たちから応募してもらったもの。応募は約八百編で、一次審査で選ばれた三十四編の作品の中から、最終審査で六編の

### 優秀賞6点

優秀賞が選ばれたものです。表彰式では、優秀賞を受賞した子供たちひとりひとりに、青柳町長から賞状と副賞が贈られ、受賞者を代表して一年のせきあやこさんが、お礼の言葉を述べました。

- 佳作 (二十八点)
- 田麦山小四年 阿部 聡
- 木沢小四年 岩沢 綾子
- 泉水小五年 北村真由美
- 川口小五年 関 耕二
- 田麦山小三年 佐藤 千春
- 川口小四年 服部 一馬
- 田麦山小二年 金山 佳美
- 泉水小二年 宮 宏子
- 木沢小二年 小林 恵一
- 田麦山小二年 内山 たか子

- 田麦山小六年 山田 浩太郎
- 川口小六年 山田 智子
- 泉水小六年 片山 智子
- 田麦山小六年 桜井 美紀
- 川口小六年 山田 節子
- 田麦山小六年 星野 小津枝
- 川口小六年 関 雅也
- 田麦山小六年 山田 真紀子
- 川口小六年 星野 美枝



▲12月16日 青柳町長から表彰を受ける



泉水小四年 石坂由希さん  
題名「自然のある川口町」



川口小一年 関あやこさん  
題名「とおくの一年生のおともだちへ」



木沢小五年 小林佐和子さん  
題名「わたしは二子山」



田麦山小五年 桜井由美さん  
題名「おばあちゃんの願いを」



川口中三年 笹崎雄一郎くん  
題名「ふる里を考える」

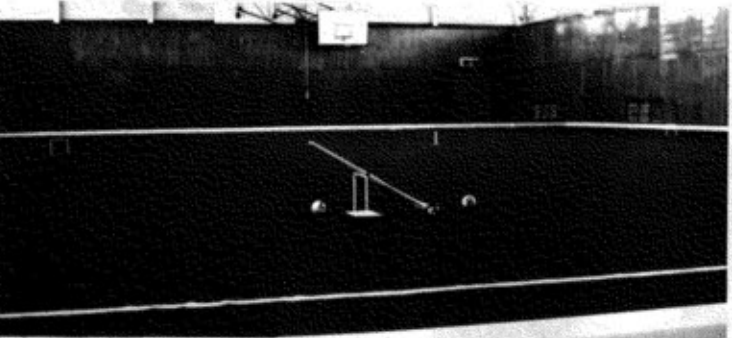


川口中一年 山田幸枝さん  
題名「私の住む町」

郷土に愛情を  
レッツ・ラブ・カワグチ  
この町は  
君が住む町 創る町



新木沢トンネル(仮称) 安全祈願祭(峠入口で)  
12月23日、新木沢トンネル工事の安全を祈り「祈願祭」が行われた。川口町長、県道路建設課長をはじめ関係者多数が出席。トンネル延長は、取付道路を含み520m、総工費約6億円。



12月18日完成した室内ゲートボール場、(運動公園体育館)

● 気温と水道水、川の水の温度を比較して  
田麦山小学校五年 桜井 梢 桜井 幸恵 桜井 由美 桜井 恵美

● 魚野川、信濃川の水生昆虫調べ  
川口中学校 科学部

運動公園体育館に  
室内ゲートボール場  
完成!!  
運動公園体育館に、室内ゲートボール場が完成しました。ゲートボールは、若い人からお年寄りまで、手軽にできるスポーツとして、年々盛んになってきています。当町では、老人クラブによるゲートボール熱が高く、お年寄りの健康、体力作り、仲間同志のふれあいと各地域で

盛んに行われています。町は、同体育館に人口芝を敷き、冬もゲートボールを楽しんでもらおうというもので、同ゲートボール場の大きさは、縦十メートル、横十五メートル。九月から使用可能です。同ゲートボール場の完成により、老人クラブでは、年間を通してゲートボールを楽しみレベルアップにもつながると喜んでいます。



ぼくたちスポーツ少年団

かっぴんぐゆぐ雪とアイススケート



ジュニアスキークラブ

川口スキー場がオープンした十二月十三日、朝早くからジュニアスキークラブのメンバー全員が同スキー場に集合……。早速、初滑りを楽しみ、練習に汗を流した。ジュニアスキークラブは、町スキー協会の下部組織として、昭和五十五年に結成された。優秀な指導者の下で、ジュニア・アルペン（滑降、回転、大回転）の育成を目指しています。

シーズンオフは、陸上トレーニングに汗を流し、体力作りを行い、これまでに、多くの大会に選手を送り出し、立派な成績を収めています。

指導は、川口スキー学校長の（県連公認）で、県スキー連盟コーチを務める佐藤正明さん（田麦山）と五人のコーチにより、合宿をしながら、スキー技術の向上に当たっています。

佐藤さんによ



▲ジュニアスキークラブのメンメン (12/13 川口スキー場で)

と、「今のメンバー全員が相当な技術を身に付けており、技術の差から、新しいメンバーが入りにくくなっている。今シーズンから、初心者コースを設け、小さい内からスキー技術を身につけてもらいたい」と語り、アルペンスキーの普及に情熱を燃やしていた。

この日、積雪は十五センチ、ゲレンデコンディションも上々。「スキーが一番大事な足、腰を十分に鍛えて下さい。今日は、軽い練習をやり、故障のないように」と、コーチの注意を受け、格好の良いスキーウェアに身を固めたジュニア達は早速、もやが立ちこ



める中、寒さも気にせず、格好良く見事なシュプールを描きながら、思い思いに体を調整していた。

これから本格的なスキーシーズンを迎え、ジュニアスキー選手権大会をはじめとする各種大会に備え、猛練習が始まる。

可能性に大きな魅力



ジュニアスキークラブ会長

小宮山豊彦

大きな可能性を秘めた子供達……と接することのできるのは幸せである。

子供達には、スポーツに限らず……。「やりたいことがやれる」、「進めてやらせてみる」……。こうした環境を作ってやるのが、私達大人の重要な役割であり、彼等は大きな可能性を秘めているからである。私達は、その秘められた能力を少しでも出せる機会を、与えてやらねばと思っています。

県内のアルペンスキーと言えば、南魚と妙高山麓などの良いスキー場に恵まれた選手の独壇場であっ

た。近年、新潟県スポーツ界は低迷が続いているが、スキー競技も例外でなく、北海道東北各県、長野県等に押されており、県スキー連盟も、これではと、各レースにわたりジュニアの育成に力を入れてきています。

川口スキー協会もその頃、ジュニアクラブを結成しました。

子供達は、コーチングスタッフの指導の下に、一生懸命練習に打ち込み、時にはライバル意識をむき出しに、そして励まし、応援し合いながらやっています。又、お父さんお母さん方も、子供達を温い目で見守りながら、練習に声援を送っています。

子供達と父兄、コーチングスタッフが一体となり、力を合わせた成果が実り、今や小学生は、妙高、南魚の大会に出場しても一歩も引けをとらない実力を身に付け、常に上位

スポーツの町宣言

に顔を出しております。中学生も、一番大変な北魚大会を突破する力を持ち、二、三年生になると、殆んど県大会まで進めるようになりました。

子供の目標は大きいですが、当面全国中学校大会への出場です。今シーズンもオープンし、一月上旬の北魚中学校大会を皮切りに競技大会が開幕します。

町民の皆さんも川口ジュニアスキーに大きな声援を送って下さい。



「燃える」との「できる人間」に育ってもらいたい!



川口スキー学校長 佐藤正明

川口ジュニアスキークラブができて、はや、六、七、八年たつでしょうか。人数は十五、二十名と、他のチームに比べるとまだまだ少ないことがさみしいが、素晴らしいチームワークと大会での優勝等、個々の目標に向かって努力している姿は、どこにも負けないと思います。

私は、子供達がスキー競技という一つの場を借りて、「燃える」とのことのできる人間に育ってくれることが一番の願いです。そして、肉体的疲労こそ、人間として充実感を覚える大切な部分かと思えます。

また、この豪雪地に生まれ雪をさけようとしても、それは無理なこと。逆に雪が降る

ことを心待ちにするような、こういった環境を自分で作ることも、この豪雪地で生きて行く、一つの考え方だと思います。

もう、シーズンに入りました。子供達は一年中夏もスキーのことが、かた時も頭から離れることはなかったはずですよ。

今年も大会で予選を通り、又、入賞し、そして優勝と、子供達と共に喜び、涙したいと思えます。その涙は、苦しい練習を思いうかべて、その結果の涙であるはずですよ。

**プロフィール**

川口スキー学校校長 (県連公認)

全日本基礎スキー選手権大会優勝

世界スキー指導者会議日本代表三回

一九五五年 チェコスロバキア

一九六五年 魔王(山形県)

一九六六年 イタリヤ



# 郷土の歴史を綴る

(郷土歴史愛好家)  
佐藤 栄氏

## 町制施行当時を振り返って

ふるきをたずねて 新しきを知る  
温故知新 (五)

前回は、三十年前の町制施行当時から約十年間を顧みて、主な出来事を拾い集めてから列してきた。しかし、これらの出来事は、すべてが行政上の出来事であり、現在見られる繁栄への足跡の一部に過ぎなかった。

この様に雑ばくな年表であっても、この年表に各自の思い出を上乗せしてみると、過ぎ去った三十年間の喜怒哀楽が、しみじみと思い出されるのではなからうか。

あの時、あの懐かしのメロデーが……  
過ぎし日々の思い出をかき立ててくれる  
流行歌

さて、「歌は世に連れ、世は歌に連れ」と、いう言葉があるが、なつかしいメロデーは、よどみ無く人々の脳裏に

年次	ヒット曲
昭和 三三	有楽町で逢いましょう船方さん
三三	黒い花びら 南国土佐を後にして
三四	潮来笠
三五	誰よりも君を愛す ありがたや節
三六	上を向いて歩こう スーダラ節
三七	王将 可愛いベビー
三八	こんにちは赤ちゃん
三九	お座敷小唄 東京五輪音頭
四〇	柔 愛して愛して愛しちゃったのよ
四一	骨まで愛して バラが咲いた

そのとき、その時世の流行、流行語は 過ぎれば何事も忘れ勝ちであるが、この際、流行語などから思い出をもう一つ呼び起してみよう。

年次	流行語など
昭和 三三	一億総白痴 よろめきの語
三三	フラフープ流行
三四	カミナリ族
三五	だっこちゃん流行 インスタント語
三六	シムレスストックンダ流行
三七	ツイスト流行
三八	プロパンタクシー出現
三九	ニットウエア ノースリーブ流行
四〇	モンキーダンス流行
四一	マンガ・おばけのQ太郎 おお松くん人気

知る喜びそして ふるきを後世に伝え

思い出は、ただ懐しいだけでなく、様々な尊い教訓を教えてくれる。

最近、町教育委員会が古文書解説の講座を開いてくれている。だれしも「知る喜び」を肌で感じ、大勢の人々が受講している。思い出とともに今まで私たちが知り得なかった川口の昔を解説して、後世に正しく伝えたいものだ。これは、われわれに課せられた大きな責務かもしれない。折々に意義あるふる里の価値を探り、あすからの糧にしたいものである。(終り)

町制施行三十周年を記念し、郷土歴史愛好家佐藤栄さんから、「郷土の歴史を綴る」というタイトルで、五回にわたり、町制施行当時を振り返って執筆いただきました。今回で、このシリーズを終わらせていただきます。佐藤さん、長い間ご苦勞様でございました。厚くお礼申し上げます。

## お年玉

まず、お聞きします。あなたはこの正月、お年玉を何人に、いくらあげましたか？ また、お宅の子供さん、何人から、いくらもらいましたか？

この額について、ある保険会社が昭和六十一年末に調査したものがありません。年末の調査なので「いくらあげるつもり」「いくらもらえそう」という予測なのですが、母親は平均七・二人に合計一万八千二百二十一円、子供は七人から三万三千九百四十三円となっています。金額の多いことにも驚きますが、意外なのは、もらう側より、出す側の予測が上回っていることです。出す側はまだ余裕があるということなのでしょう。

さて、お年玉といえは楽しみなのが、お年玉付き年賀葉書の抽せん会。今年は一月十五日に愛媛県松山市で行われます。

## 国民年金通信 ①

### 二十歳になったら 国民年金に加入しましょう

成人式を迎えられるみなさん、おめでとございます。いよいよ名実ともに社会人として一人立ちすることになりましたね。

若いみなさんには、ちょっとびり不安もあるでしょうが、それ以上に希望に輝く未来があります。

多くのみなさんは、やがて結婚し、子どもが生まれて一つの家庭を築きあげていくことになるでしょう。

そして、子どもの成長を見守りながらいつしか年を重ねていくことですが、その道のりは長く老後は遠い先のことに違いありません。

しかし、若いみなさんにも老後は確実に訪れます。しかも、それは、現在では想像もつかない高齢社会です。老後の備えは、ライフワークとして、いまから、準備していかなければなりません。現在、わが国では基礎年金



成人式を迎えられるみなさん、二十歳になったら、忘れずに国民年金の手続き(役場の国民年金係)をすませ、着実に社会人としての第一歩を踏み出してください。

支払月	支給期間
2月の支払	12月、1月分
4月の支払	2月、3月分
6月の支払	4月、5月分
8月の支払	6月、7月分
10月の支払	8月、9月分
12月の支払	10月、11月分

旧国民年金の老齢年金の支払いが年6回の改正(前)の老齢年金の支払いが、昭和六十三年二月から年六回に変更されました。変更された支払月と支給期間は、左表のとおりです。

## 明るく闊達な可愛い娘さん

### ヤング紹介 ⑤2



川口7  
竹内 美保さん

- Q 趣味は何んでしょうか。  
A 推理小説を読むこと。
- Q 休日は何をしていますか。  
A ドライブ、ショッピング。
- Q 理想の異性像は？  
A 誠実で男らしく信頼し合える人。
- Q 若さの証明とは何んですか。  
A 結果を恐れずなんにでも挑戦できること。
- Q 今の仕事の満足度は？  
A 80%
- Q 町への要望はなにかありますか？  
A 特にありません。
- Q 好きなことばは？  
A 成せば成る、成さねば成らぬ 何事も成らぬは人の成さぬなりけり。
- Q いちばん嫌いなのは？  
A 納豆とらっきょう。
- Q 将来の夢を一言どうぞ！  
A かわいい奥さんになる事。
- Q 川口町が都会よりよいと思うところは？  
A 緑が多く、のんびりしているところ。
- Q 最後に自己PRを！  
A 明るくだけ取り柄の私ですが、どうぞよろしく！